



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2018

4

Bulletin
2018.4.1発行
第32巻第10号通巻388号

主 題
国際会長 ともに、光の中を歩もう "Let Us Walk in the Light - Together"
アジア会長 ワイズ運動を尊重しよう "Respect Y's Movement"
西日本区理事 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
"Healthy mind & healthy body make healthy club"
京都部部长 All Hands on Deck!

聖句
イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は死んでも生きる」
ヨハネによる福音書11章25節



『メネット主査を拝命して』

次期京都部メネット主査 岡西 博司

次期京都部のメネット主査を受けることを、少し安易に考えていたのでしょうか、今になって本当にいろんなことを考えさせられています。

元々、僕はメネット会に異論を持っていました。京都の多くのクラブにメネット会が無いのに、なぜ日本区にメネット主任がいる。なぜ京都部にメネット主査がいる。そんなことを思っていた僕がなぜ、メネット主査を引き受けたのか？

それは、今期のメネット主任である中道京子様と、いろいろとお話をさせて頂く機会がありました。その中で、中道様曰く、「メネット会の組織に関してはよく分かりますが、今迄続けてこられたメネット事業は、本当に素晴らしい事業をされてきています。それを途切れさすわけにはいきません。」そう言われました。なんか、納得したような気になってしまいました。

メネットとメネット会とメネット事業は、分けて考えないとややこしいことになってしまいます。メネットはメンである我々のパートナーであり、何かの折、例えば記念例会の時などにお手伝い頂いたり、クリスマス例会の様なファミリーな例会等に出席して頂いたり、共にワイズを楽しんでもらっていると思います。しかし、メネット会は少し違ってきます。仮に、我がクラブにおいては、年に一回か二回、メネットの方々だけでお食事会なんかをしてもらい、お互いの交流をしてもらってはどうか。と言う事で出来ましたが、今の時代、「あなたが入ったクラブに、なんで私が行かんとあかんの」てな具合で、ちょっとややこしくなっています。京都の多くのクラブではメネット会自体が無いのが現状です。メネット事業に関しては、なおさらで、我々メンの活動に興味を持たれたメネット達が、何か行動を起こしたい。そんな意識の中から、新たなCS事業を企画し、行動を起こされているのです。又逆に、メネットからメンに代わられてワイズメンとして活動されている方も多くおられるのが現状の様に思います。

次期は、今期の西日本区のメネット事業である、「子供の貧困・虐待を考える」を継続して、各部において活動しておられることを取り上げてゆきます。我がクラブで行っている「のさんのシェルター」を頑張ってもらいたいと思っています。京都部長からは、ぜひとも「いのちの電話」を取り上げてほしいとの依頼を受け、京都部会の時にあるメネットアワーでは、いのちの電話に関わっておられるプロのフルート奏者である園城三花様をお呼びして、演奏とお話を聞きたいと思っています。

どうか、皆様の応援を宜しくお願い致します。

会長主題

“私たち”意識を大切に

会長 宇高 史昭
副会長 飯尾 豊
田中 邦昭
書記 小野 敏明
会計 森 伸二郎
林外会長 宇高真知子

強調月間

Yサ・ASF

4月 例会案内

31-1日(土日) DBC

東京サンライズと東広島トライアングルDBC交流会を例会とします。廣井宅での花見会と翌日の修学院離宮拝観。

18日(水)フィットネス

京都YMCA マナホールで、卓球などのフィットネス例会です。上履きを忘れない様に。

例会出席

3月第一例会	14名
3月第二例会	13名
在籍者数	17名
メンバー	0名
出席率	94.1%

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	24,000円

ファンド

0円

累計 410,270円

ニコニコ

3月第一例会	6,000円
3月第二例会	2,000円
累計	58,000円

3月第一例会

2018/3/7
齊藤 謙治

第753回3月第一例会、グランドプリンスホテル京都で、3月7日午後7時開会点鐘から例会次第に則り開催されました。

本日はYMCA三条保育園設置準備委員の神戸洋子氏を、ゲストスピーカーに招き、『YMCAが行う子育て支援』のテーマでお話を伺いました。最初に岡西ワイズから神戸氏の簡単なプロフィールを紹介された時、彼女は骨の髄まで、YMCAの精神を、お持ちの人だと思いました。

東京サンライズの長津ワイズとは学生リーダーから同じ釜の飯を食べられた間柄でもあり我がプリンスクラブ会長宇高ワイズともキャリアが非常に類似しており、価値体系も共有される部分が多い事から、今後、クラブとしてYMCA三条保育園に対して何らかの形でサポートが出来る様、事業活動計画を進めるべきだと思います。

神戸氏のお話の中で特に印象に残った言葉は「SPIRITとMINDとBODYがバランス良く育つ様時間を掛ける」です。ネット社会の現代に於いては効率を追い求め、成果のみを重視して情緒を置き去りにした風潮がはびこり、偏向した価値観を持った者達が、種々の社会的な問題を起こしている様に思われます。

YMCA三条保育園での保育は、ゆっくりと時間を掛けてバランス良く、情緒をも理解出来る児童を育てて行かれる事を期待して居ります。



3月第二例会

2018/3/21
古市 千修

3月第2例会は京都ウェルワイズメンズクラブとの合同例会で、ゲストスピーカーに龍谷大学附属平安高等学校情報化主任であり、ウェルワイズメンズクラブのドライバー委員長でもある松田ワイズが登壇されました。

テーマは『親子で考える情報モラル』。IT・IOTの目まぐるしい進歩で一昔前では考えもしなかったリスクが現在の情報社会で発生している事、またその社会で育つ子供たちが便利なものを正しく使えるように大人たちがどういった工夫をしなければならぬのか、日常で起こる我々の死角をすどい切り口で、また身近な事例を用いとても親身になり御講演頂きとても共感できました。

講演の中ではカードを使用した体験型のディスカッションを交え、昨今蔓延している文字だけでのやりとりだけでは、想いを伝えるのがいかに大変か、「自分はこう思っているから相手もそうだろう」ではなく価値観が個々でいかに違うのか等、大きな「気づき」がたくさんありました。情報を気軽に取得し、また発信できるようになったこの時代に自分たちの子供や家族、職場のコミュニティでルールを作ったりその仕組みを丁寧に説明するのは容易ではありませんが、目を背けてはならないのだと再認識しました。普段の仕事や生活のなかでは「無意識に気付かず」意見や捉え方の相違は生まれます。「自分はそう思うから相手もそうだろう」と安易な考えで知らず知らずに距離が離れていくはとても悲しいことです。

情報化社会の今だからこそ、人がつくる本当の「思いやり」を大切にしていきたいと思えます。

リトセンチャリティーゴルフコンペ

2018/3/25
今西 英隆

最高の天気にも恵まれ、京丹波の瑞穂ゴルフクラブにて、『京都部2018リトセンチャリティーゴルフコンペ』が開催され、京都部を中心にゲストも含め参加者51名、プリンスクラブからは岡西ワイズ、蒔田ワイズ、今西が参加致しました。

毎年、クラブ対抗という意味もあり、プリンスクラブは、ディフェンディングチャンピオンとして気合いを入れて挑んだ結果は、何と今回も優勝でした。

ワイズにおけるゴルフ熱が高まる中で、来年以降もプリンスNo.1を守れる様に、プリンスクラブ内でもチャリティーゴルフや親睦ゴルフ等を実施し切磋琢磨出来ればと思います。

3月10日(土)～11日(日)一泊二日で、新大阪駅近くの大阪コロナホテルにおいて開催された西日本区次期会長・主査研修会に参加しました。

今回は昨年に続き、2回目の参加となりましたが、前年同様土曜日の午後1時から翌日の午後3時まで、中身の濃い、詰め込みの研修でした。ただ、昨年に比べて、ワイズの横文字・業界用語(?)も理解することができ、あらためて有意義な2日間を過ごしました。

今回、京都トップスクラブの牧野ワイズから「クラブ会長の責務」の説明を受けました。クラブの発展のためには、メンバーの経験年数に従って、優先事項が変わっていくこと、新入会メンバーが自然に中堅になる構造を創っていくことが重要であると、ご自分の経験を通してお話を聞かせてもらいました。入会当初の頃は、親睦、個々のメンバーとの人間関係づくりを最優先にして、その後、委員会への出席、事業や部会、他クラブ例会への参加へとゆっくり階段を上がるようにして、クラブのビジョンを考えられる中堅メンバーへと導くようにしていくのが良いと説かれました。その過程で、会長は、新入メンバーのフォロー、クラブ全体の楽しい環境づくりを優先事項にすればと助言をもらいました。

自分自身とても腑に落ちるお話を聞かせていただき、次期会長を務める上でとても有意義な機会となりました。感謝。



京都グローバルクラブ25周年記念例会

宇高 史昭

3月3日(土)に京都グローバルワイズメンズクラブ25周年記念例会がリーガロイヤルホテル京都で、IBC・台中エバーフロークラブ、DBC・熊本クラブと宇都宮クラブなど国内外から200名超が集い、開催されました。わがクラブからは今西ワイズ、小野ワイズ、森ワイズそして私の4人が参加しました。私にとっては、今年三つ目の周年例会参加となります。

今回も新たな発見があった例会でした。第1部式典は、開会点鐘、賛美歌斉唱、聖書朗読・祈祷、ワイズソング斉唱で始まりましたが、その後グローバル宣言の唱和がありました。10周年の時に制定されたそうで、例会では毎回全員で唱和をすると聞きました。グローバルクラブの活動の底力というかメンバー共通意識の醸成のベースに触れることができました。

その後、挨拶、来賓祝辞が定番どおりに続きましたが、最近5年間に入会した15名が舞台上上がり新入会員披露があり、その多さとクラブのパワーの源泉「若さ」を見せつけられました。一方で、引き続き20年以上在籍者10名へ感謝状贈呈も行われ、多くのフレッシュマンとベテランで構成されたクラブ25周年の歴史をメンバー各々の顔から感じ取ることができました。ベテランメンバーのほとんどを知っているワイズ歴4年目の私としては、自分の立ち位置に少し戸惑いを感じました。

クラブの25周年記念事業は、ネパールの小学校の校舎建設プロジェクトでしたが、有志のメンバーが現地まで寄付金を運ばれる様子をスライドで見せていただくと同時に、これまでの活動の経過やネパールなどで学校建設支援、人身売買被害女性支援を行っているNPO法人国際学校支援協会と連携して進められてきた報告もありました。何より久保田雅彦25周年記念事業実行委員長の熱のこもった活動紹介がとても印象に残った例会でした。

これまで参加した周年例会は、次のクラブの活動への出発点と位置づけられたものが多かったですが、グローバルクラブは、これまでから周年事業を早くから計画し、記念の年を報告・節目とされていることを知りました。わがクラブの30周年は、メンバー拡大、京都部部会ホストと記念誌発行でしたが、新しい会員の活躍の場となる35周年記念例会と記念事業を一体的に取り組みたい、仕込み・準備を始めたいと一層思うようになりました。



1. YMCA三条保育園 開園

京都YMCA三条本館の耐震補強・改修工事が終わり2階フロアにYMCA三条保育園が開園します(入園式 4月2日

月)。後日、会員の皆様を対象に、お披露目会を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

【YMCA三条保育園お披露目会】詳細は後日ご案内いたします。

2. 「みんながつながる」YMCAデー

東日本大震災から7年、そして熊本地震から2年。見た目の復興が進むとともに、人々の意識が弱まり、支援活動も少なくなりつつあります。しかしその一方で、継続的な支援活動はこれからも必要です。

中日本地区YMCAでは、震災被災者の支援活動にご協力を呼びかけること、被災された方々の復興へ後押しとすること、またリブランディングによって生まれ変わったYMCAを多くの方に知っていただくことを目的に、2018年シーズン阪神タイガース主催、対東京ヤクルトスワローズ戦を協賛します。ぜひご参加ください。

日時 4月14日(土) 午後2時 試合開始

会場 阪神甲子園球場

お申込み方法 各クラブで以下の①②を取りまとめたいただき、京都YMCA事務局までご連絡ください。

①チケット付チャリティー協力(大人4,000円、子ども2,500円)※当日試合観戦にお越しいただく方のお名前をお知らせください。

②チケット不要でチャリティー協力のみ(一口3,000円)

お申込み・お問合せ 京都YMCA三条本館1階事務局(担当 藤尾)(TEL)075-231-4388/(FAX)075-251-0970 (E-mail)kyoto@ymcajapan.org

3. リトリートセンター夜桜フェスタ

今年もリトリートセンターで夜桜フェスタを行います。春の香り漂う自然を感じつつ、ライトアップされた幻想的な八重桜をお楽しみください。

日時 4月22日(日)午後4時～7時

会場 京都YMCAリトリートセンター(宇治市二尾宇川18)

参加費 大人(中学生以上)2,000円/名、小学生1,000円/名、幼児無料

チケット販売 京都YMCAリトリートセンター事務局
お問合せ(TEL)075-255-4709/(FAX)075-255-2087

去る3月11日、京都YMCA三条本館マナホールにて2017年度【卒業リーダー祝い会】が開催された。京都YMCAのユースの象徴的存在であるボランティアリーダーたち。貴重な学生時代の時間の多くを子供たちとの活動に費やし、その活動を通じて子供の成長を見守ると共に、自らも成長させた事と思う。

今年送り出す11名のリーダーたち。YMCAスイミング出身で大学生になる前にリーダー登録書に名前を書いていた「けいリーダー(アウトドアクラブ)」。幼少期入院が多く、学生のお兄ちゃんやお姉ちゃんに遊んでもらった経験からリーダーを志望した「まめこリーダー(ウィズキッズスマイル)」。YMCAに参加した当初、話すことさえままならなかったが、その後6年間もリーダーを続けた「じょーリーダー(アウトドアクラブ)」。小学校低学年で体験したYMCAのキャンプの楽しさを子供たちへ伝えたいとリーダーを志望した「セイラリーダー(キャンプ)」。将来養護教諭を目指すうえで、多くの子供たちと関わりたいとの思いでリーダーを志望した「キュアリーダー(わんぱくチャレンジクラブ)」。常に子供たちに最高の時間を届けるという気持ちでリーダー活動を行ってきた「らんりリーダー(キャンプ、ウィズキッズスマイル)」。子供たちと共に沢山の「はじめて」を経験することに最高の幸せを感じた「さつきリーダー(アウトドアクラブ)」。リーダーを通じて多くの子供たちや関係者、保護者やワイズメンと関わることが宝物の「リズムリーダー(キャンプ・ウィズキッズスマイル)。「する」からこそ「できる」ようになるをモットーに、子供たちの「できた」という実感を大切に活動してきた「ゆにリーダー(アウトドアクラブ)」。障害を持つ子供たちと関われるボランティア活動に惹かれリーダーとなった「わらびリーダー(わんぱくチャレンジ)」。大学生活一年目に物足りなさを感じ、小学生時代に体験したYMCAのプログラムを思い出してリーダーを志願した「しゅうりリーダー(アウトドアクラブ)」。

以上のリーダーたちを祝会にて無事に送り出す事ができました。各卒業リーダースピーチで、感極まるリーダーたち。年のせいか成長する若い命を眺めているととても幸せで楽しい気持ちになる。皆様、ご卒業おめでとう！

3月度 役員会報告

報告事項

- 「みんながつながる」YMCAデーに募金協力要請がありました。4月14日甲子園球場
- サバエ・リボンフェス5月6日開催に屋台を出店する
- 3月23日の京都19クラブ合同交流会に4名参加

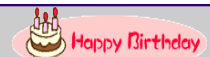
承認された事項

- サバエ・リボンフェスでの出店費用はYサより拠出する

4月 スケジュール

- 1日(日) DBC3クラブ交流会
修学院離宮など
- 18日(水) 第二例会 フィットネス
19:00 京都YMCA マナホール
- 22日(日) 夜桜フェスタ
16:00 宇治リトリートセンター
- 25日(水) 役員会
19:30 京都YMCA
- 30日(日) サバエ・リボンフェス
準備ワーク

4月



24日 毛利 隆司

編集後記

今期と次期との引継の時期になってきました。こんな時期にYの事業が急に入ると大変です。スムーズに楽しく次期へのバトンタッチが出来ますように。